



2020年6月期第2四半期業績、 及び中長期戦略について

2020.2月
Abalance株式会社
証券コード:3856(東証二部)

- 2020年6月期2Qは、当初計画通りに推移
- グリーンエネルギー事業が業績を牽引

(単位:百万円)

(百万円)	2019年6月期 2Q実績	2020年6月期 2Q実績	2020年6月期 (通期計画)	予算 進捗率
売上高	3,341	3,060	7,200	42.5%
営業利益	375	212	430	49.5%
経常利益	380	121	410	29.7%
(四半期) 純利益	263	55	267	20.8%

(注)

- VSUNの持分法化は、2020年6月期計画、2020年6月期2Q共に未反映
- 連結持分法の当期中の実行をすべく現地監査法人ERNST & YOUNG(EY)と協議準備
- VSUN2019年12月度単体売上高見込みUS\$128百万(日本円換算約138億円、監査未了参考数値)

アジア圏、再生エネルギーグローバル企業へ

社会価値と企業価値の両立

企業価値

第3ステップ 新規事業→アップサイド 獲得

第2ステップ 発電所 売電収入→海外投資等 拡大

第1ステップ 保有発電所1GW (2030年まで,国内+海外)

【ESG】経営実践 / 【SDGs】持続可能性

- **目標：保有発電所1GW（2030年まで,国内+海外）**
 - **達成時売電収入：約100億円以上（試算）**
 - **安定収益,キャッシュ・フロー獲得へ**

【自社保有開発例】

設備内容	発電量	完了予定日	総投資予定
角田市太陽光発電設備	18.31MW	2021年 3月	56億円
大和町太陽光発電設備	10.81MW	2020年11月	25億円
大衡村太陽光発電設備	10.81MW	2020年12月	25億円
福島大波太陽光発電設備	5.12MW	2021年 6月	17億円

グループ最大規模

第1ステップ獲得CF→電力需要 旺盛な海外投資へ

① ベトナムVSUN

- 株式所有： 関連会社による3割程度保有
- 売上規模： 2019年単体売上100億円以上、2020年150億円射程
*数字は参考値、当社決算後、監査を経て確定
- 生産能力： パネル製造 年間1.5GW（世界25傑）
- 業績影響： 現状未反映, 持分化方針, ベトナムでのIPO視野

② 投資収益 さらに拡大

- 投資地域： ベトナム、カンボジア、台湾等
- 投資手法： 二国間クレジット制度、ジョイントベンチャー他

VSUN
Innovative & Smart



新規事業からのアップサイドを着実に獲得します。

新規事業	事業方針 / 見通し
卒FIT	■ 第三者所有, PPAモデル等
蓄電池	■ 本格参入 (自家消費型市場) ■ ポータブルバッテリー自社開発
風力開発	■ 陸上・小型案件の風力開発 推進中 ■ 初期投資: 約16.5億円 ■ 中期投資: 約30億円以上 (每期)



製品開発例(1)

- 『楽でんくん』(発売中)
- 災害時の家庭用電源等、折り畳み式軽量モジュールとセットしたポータブルバッテリー



本製品販売・開発・製造元：
日本光触媒センター株式会社



従来製品販売・製造元：
日本光触媒センター株式会社

製品開発例 (2)

- 『ブロッキン』(製品化)
- スプレー型光触媒抗菌・抗ウイルス液 (商標登録出願中)
- 光触媒原料酸化チタンが太陽光, 蛍光灯光に反応
- ウィルス, 菌・有害有機化合物を無害な物質へ

基本方針： 安定配当は継続

■ 2020年6月期(中間):7円、期末未定

【配当状況】

対象期	親会社株主に帰属する 当期純利益	中間配当	期末配当	配当計	配当性向 (連結)
2019/6期	316百万円	7円	10円	17円	27.8%
2018/6期	756百万円	7円	10円	17円	11.7%

免責事項

本資料は、Abalance株式会社の現状をご理解いただくために、当社が作成したものです。これに含まれる情報は当社の知見及び当社が本資料を作成した時点で入手可能な情報等から引用したものであり、その正確性を保証するものではありません。今後、新たな情報や事象の発生等があった場合にも、当社は、本資料を更新する義務を負うものではありません。

